

❖ 科目名 Course Title			
環境と人間 サケ学入門 (サケ・マスと人との関わり)			
❖ 担当教員 Instructor			
工藤 秀明			
❖ 開講学期 Semester	後期	❖ 対象学年 Year	1～
❖ 履修可能人数 Capacity	20 (対面)	❖ 単位数 Number of Credits	2
❖ 授業形態 Type of Class	講義		

❖ キーワード Key Words			
サケ、回遊、人工ふ化放流、分類、気候変化、資源変動、生活史、個体群密度効果、生物多様性、バイオロギング、母川回帰、嗅覚、物質循環、海水適応、ゲノム、性統御、始原生殖細胞、流通、ハサップ (HACCP)、先住民族、市民運動、魚病			
❖ 授業の目的 Course Objectives			
❖ 授業概要 Course Description			
サケやマスは世界中で最も広く愛されている魚です。サケは単なる食材や工芸品の素材としての高い価値にとどまらず、そのドラマチックな一生がヒトの心をゆさぶり続けてきました。本講義ではサケ・マスの分類やヒトとの関わり合いの歴史を先ず紐解き、母川回帰の不思議、魚体内の生理的な変化、地球規模での気候変化と資源の変動などの生物学的・生理学的・生態学的な事象を学び、ヒトへの恵みについて歴史や文化的かかわり合いの観点から実学的に学びます。またサケ・マスを通じて市場原理というものを国際的な視点から考察できるようにします。			
❖ 到達目標 Course Goals			
単に「サケ」をテーマにただけでも計り知れないほどの奥深さと背景があることを、いろいろな専門家の講義を受けることによって考えさせ、物事の多様な事象に対して思い込みによらないで自分で思考できるようにします。			
❖ 授業計画 Course Schedule			
初めにサケ・マスとその仲間たちについて説明し、そして北海道のサケ漁業とふ化事業の歴史について豊漁から不漁の時代、そしてそれを克服するための大事業実施の経過を概説します。また、サケの増養殖の歴史と新しいバイオテクノロジーの展開について概説します。次いでサケの生態を河川－海洋－河川という3ステージに分け、環境との関わり合いに着目しながらその多様な生存戦略について説明します。またこの時、サケの体の中ではどのような変化が起こっているか、またどのようなメカニズムで母なる川に帰れるようになるのか、回遊行動を解明するバイオロギング・バイオテレメトリーとはどのようなものか、近年の地球温暖化などの気候変化がサケ・マス資源の変動や魚体の小型化と関係するのか等についても考察します。一方、文化の素材としてのサケについて、マンガの制作や考古学の現場を例に述べます。そして最後に、新海洋法時代を迎えるサケ・マスを取りまく国際情勢について概説し、将来展望を考察します。(順序については、担当教員の都合により前後します)			
❖ 成績評価 Grading System			
毎回の授業終了時に、小テスト(授業内容からの設問)を実施、あるいはレポート(授業内容の要約など)を纏めさせ、その内容により10段階(1-10)で評価する。なお、欠席は0点とする。授業毎の評価を100点満点に換算して、全授業の評価を積算・平均し、11段階(A+, A, A-, B+, B, B-, C+, C, D, D-, F)で成績評価を行う。			
❖ テキスト Textbooks			
特に指定無し			

❖参考書Reading List サケマス・イワナのわかる本 改訂新版 / 井田齊・奥山文弥：山と溪谷社, 2017, ISBN:978-4-635-36076- 最新のサケ学 / 帰山雅秀：成山堂書店, 2002, ISBN:4-425-85101-3 サケ学入門 / 阿部周一編著：北海道大学出版会, 2009, ISBN:978-4-8329-8193- サケの記憶 / 上田 宏：東海大学出版会, 2019, ISBN:978-4-486-02115- 食材魚貝大百科別巻2 サケ・マスのすべて / 井田齊・河野博・茂木正人編著：平凡社, 2007, ISBN:9784582545777 サケ学大全 / 帰山雅秀・永田光博・中川大介編：北海道大学出版会, 2013, ISBN:987-4-8329-8210-
❖準備学習Homework 複数の教員によるオムニバス形式の授業であるため、各回の授業内容について配布資料やノートをもとに 復習してポイントを整理しておくこと。疑問や不明な点などは授業担当教員に訊いて確認すること。また、講 義指定図書などにより次回の授業について予習しておくこと。
❖オフィスアワーOffice Hour
❖連絡先 (E-mail) E-mail
❖質問・相談への対応方法Contact Information
❖履修上の注意Notes
❖備考Other Information

※「対象学年」と「単位数」は、科目提供大学における数字であり、受講大学に応じて異なるので、
所属大学で確認してください。

※「履修可能人数」は、科目提供大学以外的人数であり、遠隔と対面それぞれの受講形態で履修で
きる人数を示しています。(例.5(遠隔), 5(対面):遠隔授業で5名, 対面授業で5名まで
履修可能。)

※北海道大学の対面授業は、教室の収容人数によって履修できない場合があります。